



## 第46号 木曾川町連区



# 地域づくり協議会だより

【発行日】令和2年12月1日 【発行者】木曾川町連区地域づくり協議会  
〒木曾川町内割田一の通り27(一宮市木曾川庁舎内) ☎84-0005  
【メールアドレス】k-chiki@orihime.ne.jp  
【ホームページ】<http://138kisogawa.org> 木曾川町連区で検索してね♪



↑  
こちらからどうぞ

### 一宮警察署の立ち番者激励

10月20日(火)交通死亡事故ゼロの日に、木曾川西小学校区の通学路で立ち番をしている皆さんへ、小林副署長、坂本曾川幹部交番所長他による激励会が行われました。激励場所は、Vドラッグ玉ノ井店付近と木曾川西小学校校門前です。

木曾川西小学校では、近藤校長、橋本教頭をはじめ児童会役員の皆さんが参加されました。小林副署長からは、立ち番の皆さんに感謝の言葉がありました。また、児童会の皆さんへは、ヘルメットの着用の意味など交通安全へのアドバイスをいただきました。児童会の皆さんから、立ち番の皆さんに感謝の言葉があり、激励会は終了となりました。当日は八木市議、後藤市議、葛谷区長も参加いただきました。

このような立ち番激励会は、黒田小学校区、木曾川東小学校区でも実施してもらうよう一宮警察署に申請してあります。

交通安全を考える機会が多くなる事で、木曾川町連区の交通事故が減り、町民の皆さんの交通安全意識が高まり「死亡事故ゼロの町」になる事を期待しています。



### 交通安全講習会を開催しました

10月28日(水)一宮警察署から講師をお招きし、各町内の交通安全推進員の方を対象に交通安全講習会が開催されました。今年はコロナ禍であり、十分な対策をすする事で開催に至りました。会場は木曾川文化会館、マスク着用やフェースガード、体温計および消毒液の準備、会場での着座は2席開ける等の対策です。

前半の講演は、一宮警察署交通課の谷口さんから「子供と高齢者の事故防止について」という演題でDVDをまじえてお話を頂きました。DVDでは自転車の交通ルールの解説があり、ルールを守らなかった事による悲惨な死亡事故、それに伴う賠償金は5000万円を超える事故事例など、驚きと戒めの連続となるお話でした。



後半は、門間パトロール隊の日比野敏光さんと玉ノ井防犯交通安全協力会の深井勉さんから「活動と苦勞と喜びそして提言」というテーマで活動報告を行って頂きました。始めた頃は子供達の傍に行くと「不審者ではないか」と親御さんから冷たい視線を送られましたが、今では親御さんから感謝の言葉を掛けて貰っている。副次効果として、子供達と毎日歩く事で自身の健康に役立っている。夏休みの健康管理が大変とクスッと笑える楽しいお話もありました。

聴講された推進員の皆さんによる各町内での交通安全活動が大いに期待されます。

## 防犯講習会を開催しました

10月29日（木）一宮警察署から講師をお招きし、各町内の防犯委員の方を対象に防犯講習会が開催されました。コロナ対策は前日の交通安全講習会と同様に実施しました。

前半は生活安全課の佐藤さんから「防犯対策」という演題で講演頂きました。特に木曾川連区で多発している「侵入盗対策」について指導頂き、大変参考になりました。特に犯罪者のアンケートで彼等が嫌う4項目

①時間 ②光 ③音 ④地域の眼 というお話は大変参考になりました。

後半は、門間パトロール隊の筧登志春さん、玉ノ井防犯交通安全協力会の岩田年夫さんから「活動と苦勞と喜びそして提言」というテーマで活動報告をして頂きました。防犯には地域活動が重要とのお話がありました。

聴講された防犯委員の皆さんの、各町内での防犯活動が大いに期待されます。



## 成人講座が開催されました

成人学習部 部長 川井達郎

成人講座の部長をしています。川井といいます。10月の講座は水谷先生です。先生は55年前、木曾川中学校に数学教師として赴任されまして、約15年。木曾川中学校で、特に男子バレーを指導され、木曾川町に多くの教え子があります。今、八十歳を目前にして、「木曾川町でもう一度授業をしてみたい」そうわれまして、それならば機会を作りますので、お願いしますという事で、成人講座の講師をお願いしました。

授業内容は数学ではなく、蓄音機を使って歌謡曲で授業をしてくださいとお願いしました。成人講座は、「75歳前後の人」ばかりですから、「数学よりも歌謡曲」の方が既に身体で理解しているので、みなさん喜ばれると思います。

「高度な内容よりもわかる内容」それが木曾川公民館成人講座の特色です。

40年前の教え子が参加され、蓄音機から流れる歌謡曲は分からない、知らない世代でしたが、水谷先生は今でもご健在である事が伝わり、有意義な1時間30分でした。



## 健康づくりと手作り活動に挑戦～女性学習部～

令和2年度の公民館活動は、大変難しい状況です。新型コロナウイルス感染が広まり、世界中が危機に陥っています。そんな中、生涯学習に挑んでいきたい思いで、後期の計画を立てました。

皆さんの協力のおかげで、10月から12月の3カ月の間、月2回、計6回の講座を行います。もちろん、新型コロナウイルス感染予防のために、手洗い、消毒、マスク、体温チェックなど、みなさんにご協力をお願いしての開催になります。



これまでに2回の講座が無事に終わりました。

1回目の講座は「ストレッチ体操」を取り入れました。身体の筋肉を柔らかく動かすことで、体がポカポカ暖かくなりました。後半は手作りの作業に入り、色紙でコースターを折ったり、新聞の折り込み広告を再利用して、ごみ箱を作りました。

2回目は「ミニ運動会」を開催しました。卓球ボール、テニスボール、バレーボールなど色々なボールを使ってゲームをしました。皆さん必死になったり、笑いあったり、一緒に楽しいひと時が過ごせた事が何よりの幸せです。

この後の講座も心豊かに過ごして、私たちも次のステップを考えていきます。

### サロン紹介「秋桜の会」

代表 水野美園子

私たちは歌を歌うことが大好きなグループです。公民館講堂で40人のグループで 対木明佐子（ついきあさこ）先生のピアノ伴奏で、童謡唱歌の誰でも歌える曲で楽しんでいました。コロナウイルスの影響で密集は避けた方が良い、とのことでグループを休会にしました。少人数でどうしても歌いたいねと言う人たち11人がピアノの対木先生にお願いして「秋桜の会」を結成してピアノが有る宇夫須奈公民館で活動を始めました。コロナの様子を見ながら来年4月には元のグループで再開出来たらと思っています。



活動のあとの喫茶店でのお茶を飲みながらの談笑も楽しみです。



# 知っておきたい認知症のキホン



こんにちは。地域包括支援センターコムネックスみづほです。  
木曾川町連区における高齢者の皆様の総合相談窓口です。

日々、皆様の困りごとの相談や介護予防などのお手伝いをさせて頂いております。  
ところが、今年は、コロナ禍でなかなか活動できない状況が続いております。  
そこで、紙面ではありますが、少し認知症についてお話させていただきたいと思っております。

## ① まず、認知症とは？

いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりするために、それまでできていたことができなくなり、日常生活に支障がでてくる状態です。

## ② 認知症の症状でよく見られる「もの忘れ」ですが認知症のもの忘れと加齢によるもの忘れとの違いは？

|  |   |
|--|---|
| <div data-bbox="178 904 798 1344"><h3>認知症のもの忘れ</h3><p>記憶が抜け落ちる。全体を忘れる。</p><ul style="list-style-type: none"><li>・体験したこと自体を忘れる</li><li>・ヒントがあっても思い出せない</li><li>・もの忘れの自覚に乏しい</li></ul></div> | <div data-bbox="829 904 1428 1344"><h3>加齢によるもの忘れ</h3><p>記憶の帯はつながっているが一部を忘れる</p><ul style="list-style-type: none"><li>・体験の一部を忘れる</li><li>・ヒントがあれば思い出せる</li><li>・もの忘れを自覚している</li><li>・日常生活に支障がない</li></ul></div> |
|--|---|

★例：ごはんを食べたのに「食べていない。」と言い、嘘をついていると思われがちですが、記憶が抜け落ちてしまっているためです。

## ③ では、どう対応したら良いのでしょうか？

★もの忘れや、間違いを責めることなく、落ち着いて、やさしく対応しましょう！

### 認知症の人と接するときの心がまえ

- ・あわてさせない
- ・おどろかせない
- ・できることまでやってしまわない

地域包括支援センターコムネックスみづほ

【連絡先】TEL: 0586-86-5333

担当: 米澤・中西